

◆ 就学・奨学制度 ◆

奨学資金制度概要

経済的な理由によって、修学困難な学生に対し修学に必要な資金として年額40万円を無利子で貸付けをする。教育の機会均等及び有用な人材の育成に寄与することを目的とする。

1 対象

大学、短期大学、専修学校（専門課程）に在学する学生

2 貸付実績

年度	人数	金額
平成 21 年度	122	48,800,000 円
平成 22 年度	126	50,400,000 円
平成 23 年度	123	49,200,000 円
平成 24 年度	96	38,400,000 円
平成 25 年度	77	30,800,000 円

私立高等学校等授業料補助概要

私立高等学校等に在籍する者の保護者等、授業料を負担している者に対して授業料の補助を行うことにより、公私立学校間における授業料負担の格差是正を図り、教育の機会均等の原則を確保し、あわせて私立学校教育の振興に寄与することを目的とする。

1 補助金額

年額 12,000 円

※ 実質授業料負担額が 12,000 円未満の場合は、当該授業料額を限度とする。

2 補助金交付実績

年度	人数	金額
平成 25 年度	1,825	21,441,000 円

学 校 教 育

就学援助概要

経済的理由によって、就学困難な児童及び生徒に対し学用品、通学用品費、学校給食費、修学旅行費などの費用の一部を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。

就学援助者数

(平成 26 年 3 月現在)

区分		準要保護	要保護	計	備考
小学校	人員	1,403 人	89 人	1,492 人	小学校全児童数 21,818 人
	対全児童	6.43%	0.41%	6.84%	
中学校	人員	955 人	48 人	1,003 人	中学校全生徒数 11,198 人
	対全生徒	8.53%	0.43%	8.96%	
計	人員	2,358 人	137 人	2,495 人	33,016 人
	対全児童	7.14%	0.41%	7.56%	

(%は小数点第 3 位四捨五入)

特別支援教育就学奨励概要

学校教育法施行令第 22 条の 3 に規定する障がいの程度に該当する児童生徒及び特別支援学級に就学する児童生徒について、その就学経費の一部を補助することにより保護者の経済的負担の軽減を図る。

就学奨励者数

(平成 26 年 3 月実績)

区分	児童・生徒数	扶助者数	扶助率
小学校	309 人	184 人	59.5%
中学校	168 人	101 人	60.1%
計	477 人	285 人	59.7%

※就学援助制度によって扶助している者を除く。

◆全市的行事◆

中学生総合体育大会（葵三大イベント）

「葵三大イベント～岡崎の教育 力・技・美の祭典～」の一つとして、市内の全中学生を一堂に集めてスポーツの実践や理解の機会を与えることにより、学校間の親睦とスポーツ精神を養う。総合開会式は岡崎市中央総合公園・市民球場で行われ、市内全中学校から約1万1千人の生徒と職員が参加し、全14種目を17の会場で実施している。

平成26年度大会テーマ「君が舞う！
今 夢 叶える瞬間」



〈中学生総合体育大会〉

中学生の主張コンクール

自分の身の回りの生活や社会に関して、中学生らしい清新で建設的な意見を訴える。自分の主張を述べることを通じて、自分の考えをはっきりさせる能力を高めるとともに、社会の一員としてよりよい社会を作り出そうとする自覚を高めることを目的として実施される。平成25年度も総合学習センター大ホールで夏季休業中に開催され、市内各中学校の代表者20名が発表した。市内中学校の生徒及び保護者、一般の方も聴衆者として参加した。平成26年度も、総合学習センターで開催予定である。

岡崎のハーモニー（葵三大イベント）

市内全小中学校が参加して日ごろの練習の成果を発表し合う。平成25年度も岡崎市民会館大ホールで行われ、市内67の全小中学校から児童生徒約1,000人が出演し、第40回の演奏会を開催した。平成26年度は11月15日（土）に行う予定。

〈平成25年度プログラム〉

岡崎讃歌、小中合同合唱、中学生合同オーケストラ、岡崎ジュニアコーラス「ジョリフィーユ」合唱、ジュニアプラスの演奏を行う。今年度はテーマを「未来への心をつなぐ岡崎の歌」—今を生きる、輝きのとき—とし、大好きな友達や大切な家族とともに生きる喜び、夢に向かって未来にはばたく思いを小中学生の合同合唱で豊かに歌いあげた。



〈岡崎のハーモニー〉

学 校 教 育

理科作品展

岡崎市の児童生徒の理科への興味・関心を高め科学する心を育てるために、優秀な理科研究物や創意工夫作品を集め展示する。平成25年度は岡崎中央総合公園武道館において開催され、総数260点にのぼる児童生徒の作品が展示された。出品作品は冊子「理科の研究」としてまとめられる。なお、平成11年度より優れた作品に対して木村資生科学賞が授与されている。その他、理科教育による「科学体験コーナー」「淡水魚展示コーナー」、他に「自然科学研究機構コーナー」などが設置された。また、児童生徒が科学的な体験ができるようなブースを設け、理科ボランティアによる体験コーナーで活動した。

平成18年度から、自然科学研究機構より、発想豊かな研究に対して未来の科学者賞が授与されている。

技術・家庭科作品展

岡崎市内の児童生徒の意欲向上と市民の理解を深めるために、技術・家庭科学習の中で製作した各種の作品を展示する会を開催する。平成25年度も、岡崎中央総合公園武道館において開催され、中学校生徒の作品約1,200点と小学生児童の作品約800点を中心に、高等学校生徒の作品も展示された。その他、会場には、特設コーナーとして、「製作コーナー」や「やってみようコーナー」なども設置された。また、舞台では、作品発表会や技能コンテストも行われた。



〈家庭科作品展〉

生徒市議会

岡崎市議会議場において岡崎市内の全中学校の代表が市政に対するさまざまな問題について質問・提案を行う。企画・運営は市内全中学校の生徒会で組織する生徒会連絡協議会が行う。それぞれの学校が独自に市政を学習する機会を通して、質問・提案を作成し、答弁は岡崎市各部局の部長により行われる。市内全中学校の生徒会が協力して企画・運営をし、情報交換をするなど、学校間の交流をする絶好の機会となると同時に、中学生が岡崎を見つめ考えることを通して、ふるさとを愛する心を育み、将来の有権者として市政を学習するよい機会となっている。

平成25年度の提案・質問事項は、『時・人をつなげる東岡崎・乙川河川敷の開発を』、『岡崎の食材でつくる「岡弁」を』、『学校環境ISOの実施を』など本市の実態や環境などの課題を的確にとらえたものが提案された。それが市政へのよき提言となり、市政へ反映されている。

小中学生英語スピーチフェスティバル

自らの考えを英語で発表できる場を提供することにより、小中学生の生きた英語力の養成を目的に実施される。学習した英語を使い発表することで自信をつけると同時に、他の発表者のスピーチを聞くことにより英語学習の意義が再認識できる。平成 15 年度より、岡崎市せきれいホールで夏季休業中に開催された。平成 20 年度から、小学生も参加して開催された。発表されたスピーチの内容は「岡崎市小中学生英語スピーチフェスティバル」として 1 冊の本にまとめられて、市内の小中学生の「読み物教材」としても活用される。平成 23 年度からは市総合学習センターで開催している。

造形おかざきっ子展（葵三大イベント）

市内の公立幼稚園・小中学校（附属 3 校を含む）の全児童生徒の作品を一堂に展示する。児童生徒がより多くの作品に接し、創造する喜びと意欲をいっそう高めるための野外展としており、平成 26 年度もおかざき世界子ども美術博物館の館外一帯を展示会場に、各幼稚園・小中学校が 14 のブロックに分かれて展示する。毎年テーマを設定し、素材や表現方法等を研究して作られた作品を展示する。また、学校単位でもテーマを設定し、地域等の独自性を生かした野外展にふさわしい自由作品も展示している。その他、会場では、木切れや木の実などの自然物や紙を材料として、実際に作品づくりに取り組む造形コーナーを設置している。



〈造形おかざきっ子展〉

◆ 教育関係表彰 ◆

教育文化賞

岡崎市の教育文化振興に寄与した、個人または団体の優れた業績及び現に続いている研究・活動を顕彰する。選考は、本人・個人よりの申請または関係機関の推薦を受け、学識経験者・市小中学校長会役員代表・竜城ライオンズクラブ代表・市教育委員会代表から組織された選考委員会により選考される。平成 25 年度の応募状況は個人の部が 15 点、団体の部が 29 点あり、その中から個人の部で 2 点と団体の部で 2 点が表彰された。

学 校 教 育

◆ 総合学習センター ◆

岡崎市総合学習センターは教育に関する調査研究、教育関係職員の研修及び教育に関する資料の収集を行うことにより、本市における教育の充実及び振興を図るとともに、市民の生涯学習の場として、ホール、会議室、体育室などの施設がある。

所 在 地	岡崎市上地三丁目 12 番地 1 (電話 : 54-1115)
開 設	平成 23 年 8 月
建築年度	昭和 57 年度 (平成 22 年度に研修棟を一部改修)
敷地面積	15,826.61 m ² (県有地を県から無償貸与)
構造規模	延床面積 6,112.39 m ² (県から無償譲渡) 研修棟 鉄筋コンクリート造 3 階建 ホール棟 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3 階建 体育館棟 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋建
駐 車 場	約 250 台
利用時間	午前 9 時～午後 9 時
休 館 日	月曜日 (祝日の場合は翌日の平日)、年末年始

生涯学習部門

- ・ 大ホール (ホール棟 : 定員 796 人)
- ・ 小ホール (研修棟 2 階 : 定員 120 人)
- ・ 体育室 (体育館棟 : アリーナ面積 701.76 m²)
※バスケットボール・バレーボール 1 面、
バドミントン 3 面、卓球 6 面
- ・ 会議室 2 室、和室 1 室 (研修棟 1 階)



利用状況 (稼働率)

施設 年度	大ホール	小ホール	第 1 会議室	第 2 会議室	和室	体育室	平均
平成 23 年度	6.5%	11.9%	6.5%	20.1%	2.3%	20.8%	11.4%
平成 24 年度	11.3%	18.7%	12.0%	22.7%	8.1%	37.8%	18.4%
平成 25 年度	17.4%	33.3%	25.7%	27.1%	11.2%	42.5%	26.2%

学校教育

教育研究部門（教育研究所）

1 施設内容

(1) 研修棟2階

教育研究室1（48人） 教育研究室2（72人） 教育研究室3（30人）
教育研究室4（30人） 教育準備室（8人）

(2) 研修棟3階

教材開発室1（36人） 教材開発室2（36人）
リサーチセンター
教育図書館（相談室・視聴覚準備室を含む）

2 業務内容

(1) 教員研修

中核市移行に伴う各種研修（小中初任者研修、新規採用養護教諭研修、10年経験者研修、新任校長・教頭・教務主任研修など）、現職研修部、特別委員会、自主研究サークルなどの研究団体及び個人の研修・研究活動の拠点。

(2) 教育研究

教育にかかわる専門的・技術的な事項及び教育情報の有効利用・提供方法などの調査研究。

(3) 教育アドバイザーによる支援活動

主に若手教員に対しては授業づくりや学級づくりについて、管理職に対しては学校運営にかかわる問題に対して隨時、指導・助言を行う。その他に、各種研修会において講師として指導にあたる。

(4) 教育情報の収集・提供

各研究団体及び個人がそれぞれ保存・管理している研究活動の成果の共有化を図り、有效地に活用するための体制づくり

3 会場利用状況（平成25年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	2,141	1,813	1,983	2,060	2,184	1,743	1,618	1,905	1,381	1,706	2,005	785	21,324

4 教育資料利用状況（平成25年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	216	248	186	305	558	257	178	109	156	110	222	90	2,635

学 校 教 育

4 組織及び事業概要



研修業務

- 教員の資質向上に向けて、研修事業の企画・運営を体系的に行う。
- 中核市として、研修事業の移譲を県から受け、見通しを持った計画を立てる。
- 教育上の今日的課題についての研究・研修活動の拠点として体制作りをする。
- 教育研究図書、資料の集約を図り、教育研究の推進及び研修等の活用に資する。
- 各教科領域のパソコンソフトの整備と活用を図る。
- 教科指導員との連携を図り、教員の教育活動に関する指導助言を行う。
- 岡崎教師塾「允文館」の運営を支援する。
- 自主研修事業の実施。

◆ 教育相談センター ◆

所在地 岡崎市竜美北二丁目 6 番地 1 教育相談センター 電話 71-3201
受付時間 月曜日～金曜日 午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分
休 日 日曜日、国民の祝日
12月29日から翌年1月3日まで

施設概要

教育研究所の相談部門と不登校児童生徒のための適応指導教室であるハートピア岡崎が合併して、平成22年1月4日に開所した。

「そよかぜ相談室」では、子供の健やかな成長を願って、教育に関する相談に応じ、共に考えながら問題の解決を図っている。相談の対象は、岡崎市在住で来年度小学校へ入学する子供・保護者と、岡崎市内の公立小中学校の児童生徒・保護者・教職員である。

「ハートピア岡崎」では、通所が可能な児童生徒に対して学校生活への適応性を高め、学校復帰ができるように指導・援助している。また、通所ができない児童生徒には、家庭訪問や電話による相談の対応も行い、人と対面することに抵抗を感じる児童生徒には、手紙やメール等による相談活動を行っている。

業務內容

1 「そよかぜ相談室」

(1) 不登校に関する相談

- ・不登校傾向、不登校の児童生徒の家庭・学校での養育・教育に関して悩む保護者からの相談
 - ・不登校傾向、不登校の児童生徒の指導や登校支援に悩む教師からの相談
 - ・ハートピア岡崎への通所や登校支援員による支援に関する相談

(2) 就学に関する相談

- ・就学先の選択に関して悩む保護者からの相談
 - ・在籍する子どもの就学先に関する学校からの相談

※ その他、特に教育支援の必要な子どもに関する保護者・教師からの相談

(3) 特別支援教育に関する相談

- ・家庭・学校での養育・教育に関して悩む保護者からの相談
 - ・児童生徒の指導に悩む教師からの相談

2 「ハートピア岡崎」

(1) 通所指導

- ・学校復帰に向けての自立支援と適応指導
 - ・カウンセリング

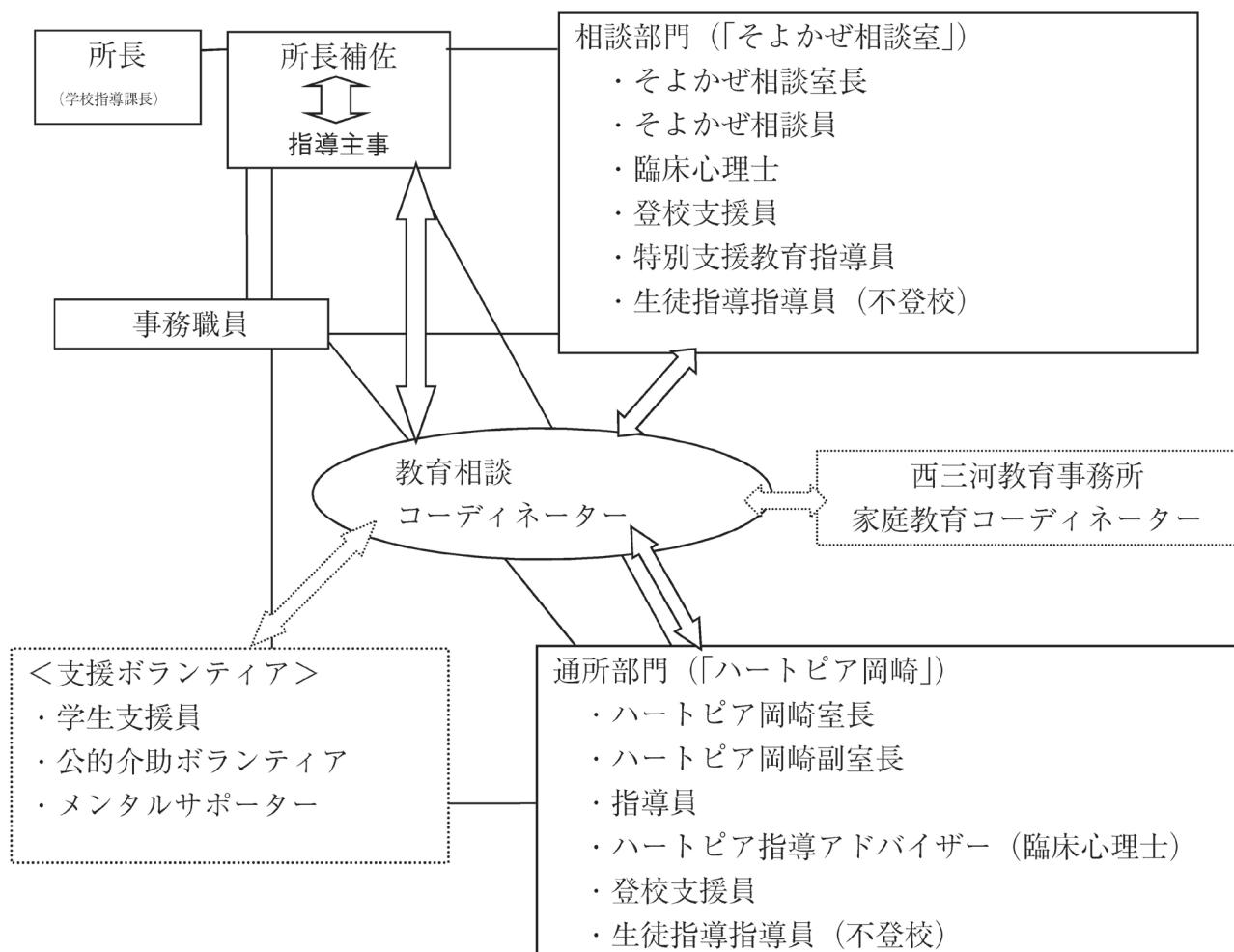
(2) 登校相談支援活動

- ・学校を休みがちな子供に対する相談と支援
 - ・学校現場との連携を基にした登校支援活動



学校教育

教育相談センターの組織



教育相談の状況 (平成 25 年度)

月	相談・支援状況								ハートピア利用状況				
	ハートピア指導員		臨床心理士		そよかぜ相談室相談員		登校支援員		登録生数	通所数	面談	見学	訪問相談
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数					
4	163	205	97	150	82	89	148	334	11	48	19	10	15
5	119	147	120	170	115	161	179	375	19	210	19	7	4
6	129	142	118	181	74	128	180	307	20	247	13	3	2
7	185	207	132	208	104	176	145	247	21	168	30	1	11
8	31	35	69	121	52	79			21	19	2	2	1
9	184	216	125	174	105	144	264	465	26	250	11	5	8
10	185	211	156	214	116	173	222	434	29	406	9	5	5
11	169	185	140	190	88	137	213	413	31	374	6	2	3
12	201	214	123	178	120	162	153	309	32	279	39	3	4
1	162	192	149	236	66	77	198	372	38	331	12	9	2
2	174	185	131	185	66	76	209	397	41	437	7	0	10
3	204	239	170	270	58	64	150	312	41	125	4	0	5
合計	1,906	2,178	1,530	2,277	1,046	1,466	2,061	3,965		2,894	171	47	70

学校教育

◆ 学校給食 ◆

学校給食センター施設概要

センター名	開設年月日	敷地面積	建物面積
北部	平成19年4月1日	11,691 m ²	5,391 m ²
東部	昭和49年4月1日	5,658 m ²	2,112 m ²
西部	昭和53年9月1日	6,339 m ²	2,490 m ²
南部	昭和57年4月1日	4,604 m ²	2,021 m ²
計	—	—	—

学校給食協会等職員

(平成26年4月1日現在)

事務局長	協会						市	県	委託	合計
	事務員	汽かん員	業務職員I	業務職員II	用務	所長	学校栄養教諭	運転手		
北部センター	0	3	1	6	66	2	(兼務)	3	10	91
東部センター	1	11	2	6	50	2	(兼務)	3	8	83
西部センター	0	2	1	6	41	3	(兼務)	3	7	63
南部センター	0	2	1	6	36	1	(兼務)	3	6	55
単独調理校	0	0	0	0	17	0	0	1	0	18
計	1	18	5	24	210	8	(1)	13	31	310

理事長、常務理事の各1名は含まず

うち栄養教諭7名

学校給食センター所長は教育委員会にて執務

年度別実施状況

年度	給食回数			年間給食回数				合計
	幼稚園	小学校	中学校	幼稚園	小学校	中学校	合計	
19	175	191	191	74,659	4,198,095	1,978,697	6,251,451	
20	172	189	189	75,520	4,191,909	1,970,003	6,237,432	
21	171	187	185	75,550	4,114,870	1,937,355	6,127,755	
22	169	188	186	74,343	4,146,752	1,939,337	6,160,432	
23	168	189	187	72,980	4,201,972	2,064,992	6,339,944	
24	164	188	188	73,859	4,168,501	2,109,870	6,352,230	
25	165	188	187	74,833	4,162,434	2,113,664	6,350,931	

年度別1日当たりの給食数

年度	幼稚園	小学校	中学校	合計	年度	幼稚園	小学校	中学校	合計
16	486	22,694	11,355	34,535	21	545	24,096	12,079	36,720
17	491	23,603	11,567	35,661	22	537	23,926	12,056	36,519
18	530	23,700	11,635	35,865	23	547	23,678	12,061	36,286
19	535	23,751	11,739	36,025	24	539	23,496	12,292	36,327
20	542	24,030	11,839	36,411	25	527	23,348	12,383	36,258

学 校 教 育

センター別給食実施状況（1日当たり）

(平成 26 年 5 月 13 日現在)

センター名	区分	幼稚園	小学校	中学校	その他	合計
北 部	校 数	0	14	6	1	21
	学級数	0	238	101	2	341
	食 数	0	7,057	3,378	49	10,484
東 部	校 数	0	14	5	2	21
	学級数	0	208	87	14	309
	食 数	0	5,897	2,932	405	9,234
西 部	校 数	3	8	3	1	15
	学級数	23	166	66	2	257
	食 数	523	5,318	2,256	42	8,139
南 部	校 数	0	7	5	1	13
	学級数	0	152	92	2	246
	食 数	0	4,630	3,042	42	7,714
合 計	校 数	3	43	19	5	70
	学級数	23	764	346	20	1,153
	食 数	523	22,902	11,608	538	35,571

リクエストランチ

児童生徒が自ら選んだ献立を実施することにより、学校給食に対する興味・関心を持ち、望ましい食生活の実践への意欲の高揚を図る。募集対象校は1年で約20校とし、採用された献立は次年度のメニューに反映させる。

各学校は、今まで実施した献立の中から、好きな献立を選びリクエストしている。

平成25年度のリクエストでは主食はごはん、めん類の中でもソフトめん、パンの順に挙げられ、主菜（食缶に入れるおかず）は三根五菜のみそ汁、かきたま汁、スープ類、カレーシチュー、クリームシチュー等の汁物が多くみられた。

副菜では揚物が多く、とり肉の竜田揚げ唐揚げ、ハムとチーズのはさみ揚げ、いかフライ等が、副々菜ではかんぴょうサラダ、海藻・豆類の多く入ったひじきサラダ、低学年の国語の教科書に登場するげんきサラダ等に人気が集まった。